

病院統合再編 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構設立式

● お問い合わせ／市企画調整課企画調整係 ☎26・5704

4月1日「地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構」が設立しました。

日本海総合病院で栗谷義樹理事長と法人の監事2人に日野雅夫県副知事から辞令交付が行われ、続いて阿部市長から法人に対して中期目標の指示が行われました。法人の監事（4月1日任命）

氏名	職業
齋藤俊勝	公認会計士
加藤 栄	弁護士

その後、玄関前で県議会議員、市議会議員、地区医師会などの来賓を始め100人ほどの関係者が



4月1日 午前7時55分 理事長に辞令交付

参加して設立式が行われました。はじめに、新病院機構の設立を記念して、阿部市長と日野副知事が機構の看板を掲示しました。

式典で、日野副知事が「高度医療の提供、患者・住民サービスの向上、経営基盤の確立を柱として法人が策定した中期計画に基づき、栗谷理事長のもと、地方独立行政法人ならではの特色を生かした運営を行うことにより、これまで以上に県民の皆さんの期待に応え、地域から愛される病院となるように期待しています」と、齋藤知事のあいさつを代読され、阿部市長からは「全国的な地域医療危機の中で、この統合再編は地域医療を



同 午前8時5分 看板掲示

守るためのものであり、全国各地で医療現場を預かる方からこの統合再編について評価の声寄せられている。また、新病院には市民の皆さんが大変期待をしているし、職員の皆さんには今まで培ってきた信頼に応え医療サービスの向上を図っていただきたい。今後、県・市は法人の運営を支援していく」とのあいさつがあり、栗谷理事長が「歴史的な統合再編を決断した県と市に感謝したい。職員が一致団結して新法人を運営していく」とあいさつされました。最後に、関係者によるテープカット、シャトル車両の出発式が行われ、新法人の船出を祝いました。

3月28日、第4回山形県・酒田市病院統合再編協議会が県庁で開催されました。協議会では、齋藤知事が「総務大臣から法人設立認可もなされたところであり、4月1日の法人設立に向けていよいよ準備が整った」。また、阿部市長が「ようやくここまで来たという感じで、感慨無量です。地域の皆さんの理解も進みつつあるが、これからが正念場である。県と市が力を合わせてよい結果になるように努力していく」とあいさつしました。



同 午前8時20分 テープカット

整備基本計画を決定

3月28日、第4回山形県・酒田市病院統合再編協議会が県庁で開催されました。



3月28日 第4回統合再編協議会

協議会では、昨年3月に策定した整備基本構想を受けて検討してきた「整備基本計画」について意見交換され、原案のとおり決定しました。同計画の詳細は、本紙5月1日号でお知らせします。